

広島を知ることは、日本の未来を考えることだ。



# 平和の栖

弓狩匡純

広島から続く道の先に

すみか

1945年8月6日、広島を変えた原爆投下。

その後から、市民の「生きる」ための闘いが始まった。

「平和都市」という概念の確立、100メートル道路計画、

1947年第1回平和記念式典、1949年平和記念都市建設法、

そして2016年オバマ大統領訪問。こうした闘いの裏には、

有名無名の勇者たちがいた。文献と証言、現場取材を織り交ぜながら、

広島の復興を臨場感豊かに描いた感動のノンフィクション。

平和の栖

すみか

7月5日(金)

発売

本体2,500円+税  
四六判ハードカバー  
480ページ

ISBN 978-4-420-31084-0

集英社

ゆがり まさづみ

作家・ジャーナリスト。1959年兵庫県生まれ。米テンプル大学教養学部卒業後、世界50ヶ国以上の国々を訪れ、国際情勢、経済、文化からスポーツに至る幅広い分野で取材・執筆活動を続ける。本書は、2017年第15回開高健ノンフィクション賞の最終候補作を加筆修正したものである。

近著『平和のバトン 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』(くもん出版)が6/17発売予定。

《切り取ってご注文下さい》

ご 購 入 申 込 書

貴店番線印

平和の栖

廣島から続く道の先に

弓狩匡純

発行・集英社クリエイティブ/発売・集英社 ◆ISBN 978-4-420-31084-0 C0095 ◆四六判 ◆480頁 ◆本体2,500円+税

お名前

TEL

ご注文数

〈お問い合わせ〉集英社 書籍販売部 / TEL:03-3230-6393

書店様専用 FAX:03-3230-2547

書店様へ

- この注文書は、左記FAX番号、または販売会社へお早めにお送りください。
- ご注文数によっては調整させていただく場合もございます。
- 番線印はハッキリと押してください。●控えは必ずお取りください。